

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アンジュ		
○保護者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	8年 2月 16日		～ 8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宣組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	放課後等デイサービス計画を職員間で共有を行い、日々職員で話し合い、個別活動では作業や学習を主に行い、前日に取り組んだ学習や作業を職員で話し合い、一人一人に沿った学習や作業はどのような事がいいかを意見を出し合いながら考えています。集団活動では、他児との関わりやルール理解、社会性を促す機会などを取り入れ、無理のない範囲で児童が参加できるようにしています。	児童の状況に応じた個別活動と集団活動の組み合わせについて、今の活動にプラスしてより計画的に様々な取り組みをしていけるようにし、日々の職員での振り返りを通して活動内容が児童に合っているか、どんな活動を継続していくのがいいかを考えて、児童が無理なく成長していけるように支援をしていきます。
2	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	業務日報やサービス提供記録等を毎日記入しており、実際に学習や活動自体がどうだったのか、支援方針などを職員間で話し合いながら、課題点や良かった点を出し合い、次の支援に繋げていけるようになっています。課題では、次はどのような工夫をしたらいいのか模索しながら違う方法で取り組むなども実践し、職員も日々学びながら支援を行っています。	普段の様子で気になる事があった場合なども、職員同士で話をしています。些細なことでも支援に繋がる事は沢山あるので、どのような支援方針で一人一人に寄り添った支援をしていくかを改めて考え、取り組み、改善など今後も行っていきます。今後も保護者や利用児ともこまめにコミュニケーションを取り、日頃の自宅での様子などを聞いたりして、さらに充実した支援を行っていきます。
3	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	公式LINEを導入しており、連絡体制がとれるようになっています。日々忙しい保護者の方が、空いた時間でお休みの連絡等をすることができたり、利用申込書も写真で送る事もでき、提出を忘れることなども防げています。公式LINEにより、保護者・事業所共に確認を行う事ができ、日々臨機応変な対応が来ています。公式LINE以外にもサービス提供記録・送迎時などでも学校の様子や放課後デイサービスでの様子などを伝え、情報共有をすることが出来ています。	今後も公式LINEを活用し、保護者とスムーズに情報共有を行っていき、コミュニケーションの強化に取り組んでいけるといいと考えています。公式LINE以外にも、送迎時・サービス提供記録でも情報共有に取り組んでいるので、それらのツールも使用しながら、保護者や児童が気軽に相談できるような雰囲気づくりや丁寧な対応を今後も心がけていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	保護者同士の交流の機会等の開催を時期を検討しながら考えてきましたが、インフルエンザ・コロナによる感染症の影響により、集まってしまう状況にあり十分な開催機会を設けることができていないのと、感染症への不安や各家庭の都合もあるので、なるべく皆さんが参加できるように開催方法等についても改めて考えていくことが必要となっています。	状況に応じて様々な方法を考え、短時間で気軽に参加できるような内容での開催や、外での季節イベントを踏まえた児童と保護者も楽しみながら行えるような交流等も検討をしていけたらと思います。感染症の状況も踏まえていきながらも、様々な方法で保護者同士が安心して交流をしていけるようにします。
2	子どもの活動スペースが十分に確保されていると思いますか。	送迎時の車の昇降には十分なスペースもあり安全で、室内活動等も十分なスペースの確保をすることはできています。しかし外での活動となると、施設外の敷地(事業所駐車場)には車が駐車しており、遊び道具を使用したり遊具等の設置は難しい為、手間はかかりますが車を移動させてスペースをつくり、施設外の敷地で安全に配慮して活動を行うようになっています。	施設外の敷地での激しい活動は難しいですが、活動プログラムを考案する時に公園や遊び道具を使う事が出来る場所を提案して、遊具などみんなで伸び伸びと外で遊べるように現在も実際に取り組んでいます。今後も児童の要望を可能な限り実践し、施設内外の活動等工夫を凝らし、また安全に配慮していきながら支援を行っていきます。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	公式LINEを使って日頃から保護者の方とは連絡などを取る体制にはなっているので、行事予定などの情報提供をすることは出来ていますが、ホームページに関してはあまり周知されていない事があります。	ホームページに日頃の活動の様子などを載せることにより、見学を考えている方なども活動の雰囲気や内容が少しでも伝わっていくので、投稿頻度を増やしていけるようにしていきます。利用をしている保護者の方にも普段どんなことをしているのかなど知ることでもできるツールの一部でもあるので、今以上に周知をしていただけるようにしていきます。